小規模多機能型居宅介護　サービス評価

実施日	令和　6年　9 月　24 日（ 15：30　～ 16：00 ）

1．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	加賀爪　鈴鹿　大江　形部　伊藤　小幡　鈴鹿

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2	11			13

前回の改善計画

初回面接～利用に至るまでに、介護現場で必要な情報を収集する。
ご利用者ご家族のニーズに対応できるように、カンファレンス等で情報を共有し、初期支援をスムーズに行えるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

情報共有はできているため、どのスタッフでも初期支援を対応することができている。しかし、ご利用者やご家族によっては、意向を言って下さる方や言って下さらない方もあり、初期支援時に新たな要望を受けることがある。要望に対して、スタッフ間で引き継ぎを行い、対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	6	3		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	8	2		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	6	7			13
③	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	6	3		13

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者様の現状必要としているサービスを状況に合わせて提供することができている。
・0JT の前の情報で支援のイメージを持ち現場で確認し、ご利用者と円滑な関係をつくるようにしている
・利用者情報を元に、今までの生活歴や要望を聞き取り、職員間で共有し合い、迅速な支援ができるようにしている。
・聞こえにくいご利用者とはホワイトボードを使って会話ができている
・自宅内のご利用者の動線を確保するために、片づけを行った。以前より介助拒否はなく、声掛けの工夫や気遣いに応えられていると思う
・新規ご利用時は特に配慮し、様子を見て声をかけている。
・家族様へはノートに報告し、小さなつぶやき等も話すようにして様子を伝えている。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご家族にお会いする機会がなく、家族の方の考えなどを直接伺うことはない。(直接でなくても、ノートや他職員との情報共有でも良いと思う)
・初期支援でご利用者の要望に対して、どこまで支援してよいのか、その場で判断に迷うことがあった
・本人が望んでいること、私たちができることに相違があり、不満を持たれている。最近話し合いができず、ノートに記していても読んでいるのか理解しているのか不明。(職員がそろわない)
・利用開始前のミーティングに参加する機会はないが、カンファノートで共有している。
・ご家族について、他のスタッフやケアマネジャーから聞いていることはできるが、それ以上のご家族とのつながりがなく、思いに寄り添った介護が十分にできている自信はあまりない

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

引き続き、ご利用者ご家族のニーズに対応できるように、カンファレンス等で情報を共有し、初期支援をスムーズに行えるようにする。初回のサービス提供後、ご利用者ご家族様にサービス内容の振り返りを行い、次のサービス提供に活かす。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 9 月 24 日（ 15：30～ 16：00 ）
2．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	加賀爪　鈴鹿　大江　形部　伊藤　小幡　鈴鹿

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2	7	4		13

前回の改善計画

・スタッフ間で実施中の個別ケアを引継ぎし、ご利用者が日中継続して活動できるようにする
・コロナ渦の影響で控えていた屋外での活動に取り組む。
・通い時の様子をご家族へ伝えられるように、連絡ノートの作成内容について統一する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・創作活動、雑巾作成、菜園などに取り組み、昨年度に比べて、参加してくださるご利用者が増えている。しかし担当しているスタッフが不在になると、活動が滞ることがある
・連絡ノートの内容に抽象的な表現が多く、まだ具体的に欠けている
・ミーティングやカンファノートに記載されている内容が伝っていないことがある
・春先～夏前にかけては屋外での散歩を取り組んでいたが、猛暑が続く中はできなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	7	4	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	7	3	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	7	3	1	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	2	3	7	1	13

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・来所持、ご利用者様の出来ることを提供している
・会話をしながら、ご利用者の気持ちによりそいたいと思っている
・ご利用者個々の得意分野での作業をして頂くことが増えており、「退屈」な時間帯は減っている。作業の様子は連絡ノートで報告している。
・通い時の様子をご家族へ伝えられるように、連絡ノートに作業内容について統一する
・スタッフ間での個別ケア引継ぎ、通い時の連絡ノートは共有し、統一出来ていると思います
・発疹やフラツキ等など、体調の変化に敏感になっている職員が多くなっている。ご自身のやりたいことをしていただいている。
・日中、目的を持って過ごして頂けるように、一人ひとりに取り組んでいただく、制作物等を考えている。
・実践したこと、悩んでいることはミーティングで相談すること。「したい」に寄り添った支援や関わり方をすること

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・したいことを引き出し、それをセッティングすること（ご利用者の高齢化により、体調管理の方が優先される。また何かできたり完成させられることが「価値」があるようにご利用者に思わせたくない）
・外出関係ができていない（人手が足りないため、外出できる時間が取れない）
・気分転換にドライブや屋外活動が良いが、なかなか時間をさくことができない（入浴に手を取られたりして、見守りを確保しがたい）。個別ケアの引継ぎ。
・聞き取りシートを利用していないため、本人の目標は皆で共有できていない（カンファレンスがなく、発言や振り返りができていない）

・連絡ノートの内容に「いつもと変わりない」「いつも通り」等の文章を書いている職員がいる。利用者様と一緒に買い物に行けていない。（いつもとはどういう状態なのか書けていないのは観察不足と思われる。人手が少ないため、買い物同行ができていない）
・連絡ノートの作成内容は統一されていないように思う
・本人の目標が思いうかばないので、ゴールを意識した関わり方に不十分なところもある（事前のご利用者様の情報を理解して、読み切れていない）

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・通い時の様子をご家族へ伝えられるように、連絡ノートの作成内容について統一する。
・個別ケアなどの取り組みについて、担当しているスタッフが不在時でも活動できるように引継ぎを行う。

事－②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 9 月 27 日（15：00～15：30）
3．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	加賀爪　片岡　大江　伊藤　西山　鈴鹿

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3	7	3		13

前回の改善計画

ご本人様の自宅の生活環境を把握するために、以前の暮らし方の把握に努める。ご利用者の変化や状況について、カンファレンス等で共有し、状況に合わせてたサービスを提供する。連絡ノート等を使って、サービス中に聞き取ったご利用者の意向や心身の状況をご家族様に伝える。

前回の改善計画に対する取組み結果

夏場の脱水症状など、体調の変化は共有できており、早期対応や専門職につなげることができている。
爪切りに関して、入浴介助後に行っているがスタッフによっては行えていない時がある。
昨年度はご利用者一人ひとりに聞き取りを行い、以前の生活の把握に努めていたが、更新に至らず、ご利用者の以前の暮らし方に注意が向かなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	1	4	6	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6	3	3	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	9	2	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	5	1		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	4	3		13

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・全体で変化を共有し、気がかりなことはカンファノートに記入。
・ご利用者様の体調管理は特に気をつけて取り組んでいる
・体調に変化がある時には職員と共有し対応するが判断に迷うときは CM に報告することにしている
・カンファノート等で日々の情報を共有している
・その日の調子や歯の具合などで、食事形態をかえたり、経口補水液をすすめたりなど柔軟に対応できていると思う
・本人の気持ちや体調の変化に気付いたとき、その都度共有する。
・ご利用者とのコミュニケーションではたくさん会話し、日々の変化等無いか見ている。意欲を持ってもらえるような前向きな声掛けを心掛けている
・分かること、気が付いたことを共有すること。他のスタッフとの話し合いで知ったことをすぐに実践してみること

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・腹痛や排尿が無いなど、医療が必要な時に連絡を入れてからとなるので、対応に時間差が出てくる。（医療につながるまでの時間差を短縮するための方法を考えておく）
・知識がない時もあり、体調の変化を気づいていない時もある（もう少し知識をつけて体調の変化に対応できるようにする）
・以前の生活状況は主に利用者情報で把握すると共に聞き取りと室内の状況を見て推測するしかない（独居の方が多いので詳細を知ることが難しい）
・利用開始に情報が少なく、ご本人からも聞けないご利用者は以前の生活環境を把握するのは難しい
・ご本人が本当に何がしたいのかを聞き取り目標を見つけることがあまりできていない（以前の暮らしの把握やこちらからの提案主体で動いており、時間をかけて一人ひとりと接していない）

・食事やリハビリ的なサポート（リハビリに関しては知識不足。夜間の様子は把握しきれない）
・ご利用者一人ひとりを思い浮かべてみても、以前の暮らしが 10 個以上でない方がいる（コミュニケーションを取れる方と取りにくい方がおられ、こちらの努力も足りていない）

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・聞き取りシートの見直しを行い、ご利用者一人ひとりの暮らし方を把握する。
引き続きご利用者ご家族の意向や体調不良時など、早期対応できるようにその都度共有化を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 4 日（15：00～16：00）
4．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	加賀爪　大江　形部　片柳　小幡　伊藤　鈴鹿

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1	7	3	2	

前回の改善計画
地域の協力を得ながら、ご自宅で暮らし続けることができるように支援する。 個別ケアを通じて、地域資源を活用し、～したいの実現を図る。町内の組織を把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者の生活習慣を把握することができている。地域の方が協力してくれており、(S 字フック・生協)体調も気にかけてくれている。最初興味を示してくれなかったご利用者が展示に興味を持つようになり、地域とのつながりが増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	7	3	2	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	7	3	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	7	4	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	4	7	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・地域の方からの声掛けには、笑顔で挨拶をし、関係を持ち続けて頂けるように、ご利用者のプライバシーにも配慮し、お話をしている。
・ご利用者様の近隣の方々とコミュニケーションを取っている。通いや訪問をしていない時間帯のご利用者の行動もある程度把握できている。
・入浴時に私生活や仕事について聞き出すようにしている
・地域の協力を得ながら、ご自宅で暮らし続けることができるように支援する
・変化があればご家族に連絡したり、ご近所様に会えば挨拶もしている。どのように過ごしているかは本人談と冷蔵庫の状況などで少しは把握できていると思う
・ゴミ回収、宅配弁当、買い物支援にてご自宅で暮らすことができている。他施設カフェに作品を展示してやる気や達成感につながっている。
・ご利用者の暮らし方を把握し、支援している

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご利用者が地域資源を利用しやすくすること（観光地という土地柄、住民の入れ替わりや町内会に入っている人が少なかったりして、把握しにくい）
・近隣の方との接点があまりない。地域の新し関係作りや民生委員との関わることがない
・独居の方などは、周囲と関わりが少ない（介護に理解が無い方やご利用者の実態を知らない方が多い）
・民生委員の方との関わり、仕事内容や地域の資源等の把握ができていない
・自ら地域の方に働きかけることはあまりない（個人情報のこともあるのでどこまで関与していいのか分からない）

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

地域の協力を得ながら、ご自宅で暮らし続けることができるように支援する。
個別ケアを通じて、地域資源を活用し、～したいの実現を図る。町内の組織を把握する。
地域資源や民生員について、役割を把握する

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　10 月 4 日（10：00～11：00　）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	加賀爪　大江　形部　片柳　小幡　伊藤　鈴鹿

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3	8	1	1	13

前回の改善計画

ご利用者のニーズに対して、各関係者や社会資源を活用し、柔軟なサービス提供を通じて、
住み慣れた自宅で暮らし続けることができるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

ご利用者の状態に合わせて、事業所のサービスと他事業所のサービスを組み合わせながら、生活支援を行うことができている。しかし、情報共有はできているが検討まで至らないことがあるので、急変を除く場合は対応が遅れることがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	6	4	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	6	5	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	7	2		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	7	2		13

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ゴミ収集や買い物の付き添い等、事業所でできないところは社会資源を活用している
・通院の出来ないご利用者には訪問診療や歯科で治療を受けて頂いている
・買い物依頼を受けた時はご利用者の多くは馴染みの店が多く、買い物品目も把握されており、安心して依頼されている。
・柔軟なサービス提供を通じて、住み慣れた自宅で暮らし続けることができるようにする
・食糧がない利用者に食べ物をわけてもらったりしている。ボランティアの利用。本人の変化に気付き、情報の共有はできている。
・ご利用者の希望に応じ、通いや訪問などの変更等に対応できている。通いを拒否され、訪問に切り替えても質は落ちていない
・その日その時の本人の状態やニーズに合わせてカンファレンスを行い、柔軟な支援を行う
・本人の状態を見たり、ご本人に伺ったりして確認し、介護に活かせるようにしている

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・通い訪問はしているが、宿泊を規模している利用者がいないため泊まりはしていない
・地域の資源を使って支援できていないと思う（地域の資源を使う活動を知らないため）
・来所拒否のご利用者への説得ができず、入浴に来て頂けない（行きたくないと言われるご利用者を無理に連れて行くことはできないため、もっと別の方法や時間をかけて説得する等考えていけていない）
・食事や水分摂取が少ないご利用者に声掛けするだけで終わっている
・ミーティングに参加する機会が少ない（勤務日数が少なく、ミーティングに参加できていない）
・他の機関とのつながりが弱い。ニーズに応えられているかよく分からない（ニーズに近い支援は出来ていても、完全にはできない。できていないと思うことに対して、仕方ないで終わらせてしまうこともある）

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

引き続き、ご利用者のニーズに対して、各関係者や社会資源を活用し、柔軟なサービス提供を通じて、住み慣れた自宅で暮らし続けることができるようにする。カンファレンスを通じて、ご本人様の変化に応じた対応ができるように常時取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 4 日（10：00～11：00　）
6．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	加賀爪　大江　形部　片柳　小幡　伊藤　鈴鹿

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2	4	3	4	13

前回の改善計画

地域の会議イベント等の参加機会を前年度より他スタッフにも設ける。
事業所として、関係機関と連携・協働ができるように、スタッフ協働で活動を継続する

前回の改善計画に対する取組み結果

・消防訓練に他事業所も参加している。地域のカフェや展示会にご利用者が作成された創作作品を展示している。雑巾の寄付活動も継続しており、事業所として、地域等との関わりは継続できている。しかし、スタッフ一人ひとりが関わる機会は少なかった。地域の子どもたち向けの七夕イベントを開催した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	1	3	7	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	1	1	9	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	2	2	7	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	1	1	9	13

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・必要時、福祉用具等を導入することができている
・修道学区運動会を初めて見学。テントの下で町内の応援をされていたご利用者がとけこんで見えました
・ご利用者様が作ってくださった雑巾を寄付している
・消防訓練に参加し、署員から出来ていないこと出来ていることを評価してもらった。参加されている近隣の方とも話し合えた。運営推進会議に初めて参加した。
・町内会、消防団等の活動やイベントに参加
・事業所が予定している地域協働イベント等は小規模会議で把握している
・町内運動会や消防のイベントに参加する。町内の方と話す機会があった
・子どもたちとの交流で、事業所に子どもたちが訪れた

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域の各種機関や団体との関わりがない（機会がないため）
・会議やイベントの参加（勤務時間に制約があるため
・会議に出る立場にない。七夕イベントを行ったが、来て頂けなかった。宣伝不足か場所の問題かと思われる。
・地域イベントに参加していない（施設の立地条件）
・登録者以外の方の訪問はあまりない（イベントの周知が難しかったのではないか）
・地域の他機関とのつながりの把握（会議までなくても研修を受けることはあったので、それを続けていきたい。できることからやっていくしかないと思う）

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

引き続き、地域の会議イベント等の参加機会を前年度より他スタッフにも設ける。
事業所として、関係機関と連携・協働ができるように、スタッフ協働で活動を継続する

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 4 日（10：00～11：00 ）
7．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	加賀爪　大江　形部　片柳　小幡　伊藤　鈴鹿

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		4	3	6	13

前回の改善計画

運営推進会議などを通じて、地域と協働した取り組みを行い、地域に貢献できる活動を継続して取り組んでいく。取り組みする内容はスタッフ内で共有し、一部スタッフだけの活動にならないようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・消防訓練に他事業所も参加している。地域のカフェや展示会にご利用者が作成された創作作品を展示している。雑巾の寄付活動も継続しており、事業所として、地域等との関わりは継続できている。しかし、スタッフ一人ひとりが関わる機会は少なかった。地域の子どもたち向けの七タイベントを開催した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	3	6	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	5	4	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	4	2	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	3	3	6	13

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・意見や苦情があれば積極的にきき、反映し共有している
・関係機関への作品展示、雑巾の寄付活動は継続中。他の職員も展示作業に関わってもらい、他機関の職員さんとも顔なじみとなっている。
・運営推進会議などを通し、地域と協働した取り組みを行い、地域に貢献できる活動を継続して取り組んでいる
・小規模会議で把握し、意見や苦情は管理者に伝え、カンファノートでも共有できている
・ご利用者からのご意見やご希望はすぐに反映できるようにしている
・意見を言う場では発言できている。パートの話も聞いて下さる職場で有難いです。又訪問先の近所の方とお会いしたらご挨拶と少しお話をさせていただき、不満などないか確認している。近所の方から得られる情報もある。ご家族ともコミュニケーションを取り、顔を合わせた時は積極的に話すようにしている。できるサービス以上の事を仰るご家族もいるが、管理者に報告し断っている。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・会議や地域との協働（取り組み内容によっては定期的なものもあり、業務の中に取り込みにくい
・意見や苦情を地域の方に聞き出せていない
・地域との協働
・ご家族や地域の皆様の意見を運営に反映できていない（ご家族や地域の皆様とお会いする機会がない）
・意見を言えるぐらい、深く考えることが少ない（自分の行動や周囲の人の行動に問いを持てていない）

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

引き続き、運営推進会議などを通じて、地域と協働した取り組みを行い、地域に貢献できる活動を継続して取り組んでいく。取り組みする内容はスタッフ内で共有し、一部スタッフだけの活動にならないようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 4 日（10：00～11：00　）
8．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	加賀爪　大江　形部　片柳　小幡　伊藤　鈴鹿

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3	6	4		13

前回の改善計画
リスクマネジメントについて、ヒヤリハットを活用し、スタッフ一同協力し合いながら、未然に事故を防いでいく。事業場内の研修等の機会を設け、スキルの向上を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
ヒヤリハットを使い、未然に事故を防げるケースが実際にあり、事故を防ぐことができる 研修の機会が増えて、スキルアップにつながっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6	4	1	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5	3	2	13
③	地域連絡会に参加していますか	2		2	9	13
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	5	4	2	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・事故を未然に防ぐためにヒヤリハットを出すようにし、全職員に意識付けが出来ている
・研修への参加、ヒヤリハットの情報を共有
・実務者研修を取りにいって、知識をつけている
・施設内の研修や勉強会に参加している。未然に事故を防ぐためにご利用者への付き添い方や体調の変化による転倒を予知すること等を共有している。
・ヒヤリハットを活用し、スタッフ一同協力し合いながら、未然に事故を防いでいく
・リスク軽減に努めている。歩行時のポジションの選択や嚥下の様子を見ながら、食事形態を変更している
・確認作業を怠らず、安全安楽経済性を考えて行動する。
・職場での研修も多く、勉強になっている。資格取得は取り組み始めたところで、理解してもらっている。
・研修が増えた

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・施設内での研修は出来ている。また動画等の研修は受けているが、外部の連絡会等に出れていない
・地域連絡会への参加
・ヒヤリハットの活用ができているか不明。内容について話し合いの場をもてていない。
・ヒヤリハットが少ない（ヒヤリハットは介助ミスと思っているから）
・ご利用者様の個別対応がまだできていないことがある（他の事に気を取られ、集中力を欠くことがある）
・地域連絡会に参加していない（勤務時間によるため）
・資格取得やスキルアップのための研修（学業との両立が難しい）

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

引き続き、リスクマネジメントについて、ヒヤリハットを活用し、スタッフ一同協力し合いながら、未然に事故を防いでいく。事業場内の研修等の機会を設け、スキルの向上を目指す。カンファレンスにて、ヒヤリハットなどの注意点を確認し、周知徹底にいたる

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 4 日（10：00～11：00　）
9．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	加賀爪　大江　形部　片柳　小幡　伊藤　鈴鹿

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3	7	2	1	13

前回の改善計画
日常生活の支援を通じて、ご利用者の生活実態を把握し、ご利用者の生活状況の変化があった場合は成年後見制度の活用の有無を検討する。虐待身体拘束について、事業所内で発生しないようにスタッフ一同取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果
昨年より、研修する機会を設けており、事業所内で発生しないようにスタッフ一同取り組むことができている。ご利用者の話をフロア内ですることがあり、ご利用中の方に聞こえているのではないか。声量に注意する必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	13				13
②	虐待は行われていない	12	1			13
③	プライバシーが守られている	8	5			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	2	2	4	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	5			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・後見制度を活用することができている。身体拘束や虐待はなく、プライバシーの保護も取り組めている
・個人情報を別のご利用者に聞かれたときは言わない様にしている
・虐待身体拘束を防ぐために、グループホームと連携して資料作りをし、職員の方々に理解を深めてもらえるようにしている
・身体拘束、虐待、プライバシーは守られている。個人を尊重し接していると思う
・毎日の訪問によるご利用者様の生活実態をスタッフ間で共有している。虐待身体拘束についてはビデオ研修等でスタッフ一同取り組んでいる
・ご利用者一人ひとりの情報は共有するが、軽々しく話さずプライバシーを大切にしている。
・虐待や身体拘束について言葉や行動で気をつけないといけないことを共有している

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・トイレという個室内での状況確認のタイミング（事故が起きる前にノックと声かけをするも、ご利用者の表情から少し早かったと感じる。プライバシーの時間と事故の起きる時間との兼ね合いが難しい
・ご利用者の判断能力がどの程度低下した場合、成年後見人利用の検討を進言したらよいのか難しいが、気になったことがあれば報告している
・ご利用者の情報を大声で話したり、介助方法を話し合っている。
・成年後見制度や個人情報の管理（制度・管理の方法を学んでいないため）
・意識しても不十分な部分があると思う（敏感になって虐待身体拘束について考えられていない）

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

引き続き日常生活の支援を通じて、ご利用者の生活実態を把握し、ご利用者の生活状況の変化があった場合は成年後見制度の活用の有無を検討する。虐待身体拘束について、事業所内で発生しないようにスタッフ一同取り組んでいく。事業所内でご利用中の方にスタッフ間の話が聞こえないように場所や声量に注意する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人 端山園	代表者	山内幸雄
事業所名	地域密着型ケアセンターいまくまの	管理者	加賀爪亮多郎

法人・事業所の特徴	豊國神社の境内の一角に位置し、自然に囲まれた閑静な環境となっている。「住み慣れた地域で、いつまでも‘ありたい自分’で暮らしていける」ことを目指し日常の支援を行っている。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	1人	2人	人	6人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の 確認	各テーマの改善計画をもとに、ミーティング等を通じて、活動を確認し、スタッフ一同取り組んでいく。	ヒヤリハットを活用しながら、未然に事故を防ぐことができている。今年より、研修の機会を増やすことができたため、職員一人一人が研修を受ける機会が昨年に比べて大幅に増加した。今年度は6件新規受け入れがありました。スムーズにサービスを導入することができており、サービス開始によって、状態が良くなられた方が見られます。	日常業務でお忙しくされている中、研修の機会を大幅に増やされたのは大変だったと思います。おかげで、ヒヤリハットの件数が減少したとのことで、成果が目に見えて分かると、職員の方の目標意識も向上するかもしれません。引き続き取り組まれることを望みます。	各テーマの改善計画をもとに、ミーティング等を通じて、活動を確認し、スタッフ一同取り組んでいく。
B．事業所の しつらえ・環境	感染対策を継続しつつ、ご利用者と共に、季節折々の作品作りや飾り付け・プランターでの栽培を行い、引き続き季節感が味わえるようにする。環境整備を継続し、居心地のいい空間を作る。	事業所内での感染発生はなく、継続して感染対策を行いながら、運営を行っています。ご利用者の方々と一緒にプランターで季節折々の栽培や飾りつけを行いました。	玄関に展示されている作品をいつも楽しみにしています。無理なく継続できるようにな工夫がされていると思います。今後も変わらず、居心地のいい空間作りを期待しています。	引き続き、ご利用者と共に、季節折々の作品作りや飾り付け・プランターでの栽培を行い、季節感が味わえるようにする。環境整備を継続し、居心地のいい空間を作る。
C．事業所と地域の かかわり	地域資源の活用連携を図り、ご利用者のケースにあたる。昨年度取り組んだ創作作品の出展活動や雑巾の寄付活動を継続すると共に、世代間交流ができる機会を作る。	昨年同様に、なづなカフェやすこやかカフェなどにご利用者と作成した創作作品を展示しています。東山支援学校や今回新たに、つるの家へ雑巾を寄付しています。また、なづなカフェを事業所内で開催し、グループホームのご	地域や関係機関との積極的な連携が実際に形となり、継続できていることに感服しています。地域の公益的な取り組みに向けて、誰もが楽しむことのできるものを一緒に検討させて頂きたいと思います。	引き続き、地域資源の活用連携を図り、ご利用者のケースにあたる。創作作品の出展活動や雑巾の寄付活動を継続すると共に、世代間交流に取り組んでいく。

		利用者とともに、他事業所との交流の機会を設けることができました。		
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の社会資源を活用し、ご利用者のケースにあたる。ドライブや買い物、地域行事への参加など、外出の機会を設ける。引き続き、ご利用者と共に、創作作品を作成し、他事業所へ展示活動を行う。ご利用者と共に、雑巾を作成し、他事業所への寄付活動を行う。	ドライブや買い物同行には取り組めていませんが、修道学区の運動会へ見学に行きました。ご利用者とともに、雑巾の寄付活動や創作作品の展示活動にて地域に出向いています。東山区運営協議会や地域ケア会議に出席し、地域課題に取り組んでいます。	ご利用者も地域の一員であるため、施設内にとどまらず、積極的に地域へ出向かれるよう、引き続きの活動に期待しています。	ドライブや買い物などの外出の機会を設ける。ご利用者と共に、創作作品を作成し、他事業所へ展示活動を行う。ご利用者と共に、雑巾を作成し、他事業所への寄付活動を行う
E．運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を通じて、困難ケースへの取り組みや地域の活動状況・ニーズを把握し、活動参加を通じて、地域へ貢献する。	運営推進会議を通じて、事業所内で取り組む防災訓練に、他事業所の方々にも参加していただくことができました。雑巾の寄付先も増えて、地域とのつながりを昨年より増やすことができています。	施設と地域がつながるきっかけとなるよう、把握しているイベント等をお知らせできるように心がけたいと思います。またつながりもきっかけに分野を超えた多様な取り組みが展開されることを望みます。	運営推進会議を通じて、困難ケースへの取り組みや地域の活動状況・ニーズを把握し、活動参加を通じて、地域へ貢献する。
F．事業所の防災・災害対策	地域の防災活動に参加すると共に、事業所の防災訓練に地域の方々に参加案内を出す。毎年施設内で行っていたAED講習会を外部の方にも案内する。	AED講習会は2月に予定。事業所の防災訓練に地域住民の方や他事業所の方々に参加して頂くことができました。	講習会にはどなたでも参加いただけるということなので、こちらでも周知に協力できればと思います。	地域の防災活動への参加。事業所の防災訓練に地域の方々にも協力を頂く。BCPの訓練を継続する。